

あきんど

Yoshikawa City Society Commerce and Industry



商工会の目的は企業の繁栄と地域の発展です。
ご活用下さい。あなたの街の商工会
<https://www.namazu.or.jp/>

第44回 吉川商工まつり



今年で44回目を迎えた「商工まつり」。コロナ禍での度重なる中止を経て、11月19日(日)に4年ぶりに大勢の来場者のもと開催することが出来た。規模はコロナ禍以前と比べて若干縮小しているが、多くの出店者・関係者の皆様のご協力のおかげで盛況のうちに終えることが出来た。また、お忙しい中、会場まで足をお運びいただいたお客様に心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。



会場内に出店していただいた商工会員の飲食や物販、各企業のPRブースでは、様々な商品が展示・販売されており、早々と商品が品切れとなり追加商品を取りに会場とお店を何度も往復する出店者や、自社の商品を興味深く見られている



お客様に熱心に説明する出店者、その話を真剣に聞いているお客様の顔が多く見られ、大変喜ばしく思いました。各出店者からも会社(お店)のPRをしっかりとすることが出来たとの喜びの声を多くいただき、商工まつり実行委員長としてこの上ない喜びでした。また、今回の市民まつりは商工まつりが幹事部門でしたが、まつり全体を見ても、市民交流まつりや農業まつり、交通安全まつり、健康福祉まつりのいずれのまつり部門においてもとても盛況で、直売の野菜を抱えたお客様や白バイに乗って喜びの子供の姿などがとても印象に残り、市民まつり運営委員長としても大変良い市民まつりが開催できたと思います。
(商工まつり実行委員長 田村 正夫)

賀詞交歓会

1月18日、商工会館において新春講演会及び新年賀詞交歓会が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、たいへん多くの会員の皆様にご参加いただきました。また、中原恵人吉川市長、松澤正崎玉県議会議長、松崎誠吉川市議会議長を始め、多くの来賓の方々にもご臨席を賜りました。

新春講演会には、お笑いタレントの大島和也氏を講師に「人を笑顔にする会話術」と題して、小学校教諭であった氏が夢をあきらめられずに芸人となるも鳴かず飛ばずで売れず、生活のために始めた大手とんかつ屋チェーン店でのアルバイト接客日本一となり、教師・芸人・接客業の全ての経験から身に着けた「人を笑顔にする、ファンにするためのコミュニケーション術」を



軽快なトークとフリップを使って面白おかしく話し、会場は絶え間ない笑いに包まれました。講演会終了後、吉川市商工会、越谷



法人会吉川支部、吉川市青色申告会、吉川工専工業会の4者共催による新年賀詞交歓会が行われ、関根守越谷法人会吉川支部地区長による開会のことばが始まり、主催者を代表して田村正夫吉川市商工会長による新年のあいさつがありました。あいさつの中で、1月1日に発生した能登半島地震で被災された方々へのお見舞いの言葉がありましたが、我々商工会としても義援金活動を行い、被災された地域を支援していきたいと考えています。商工会館に義援金募金箱を設置しておりますのでお立ち寄りの際にはご協力をお願いいたします。

していききたいというお話があり、その一つとして、原油や光熱費などの価格高騰の影響を受けている市内の商工事業者や農業事業者等に対し、電気代、ガス代、燃料代などに係る経費の一部を給付する支援金の第3弾の受付を開始するので是非とも活用いただきたいというご案内がありました。来賓の方々からご祝辞をいただいた後は、阿部照義吉川市青色申告会長による乾杯の発声により、4年振りとなる立食形式での懇親会が開催されました。参加された方々は新年のあいさつや日々の事業に関する情報交換等をされ、1年のスタートとしてとても有意義で賑わいのある時間を過ごされました。そして、楽しい時間はあっという間に過ぎていき、最後は附田健志吉川工専工業会長による締めめのあいさつで閉会となりました。



あとがき

商工会報「あきんど」の編集を担当している企画委員会委員長の石井和也です。早いもので理事の任期である三年を終えようとしており、前任の田口委員長とは違った味を出せるようにと頑張ったつもりですが、皆さまに想いが届いたでしょうか？

令和六年のスタートは能登半島地震に始まり、翌日は羽田空港の航空機事故と大変不安なものでした。改めて、お亡くなりになられた方々に被害に遭われた方々にはお悔やみ、お見舞い申し上げます。そして一日も早く平穏な生活に戻れることをお祈りいたします。

新型コロナウイルス感染症拡大による行動制限が続いてきた四年間、暗いニュースが多岐な状況の中で広報誌づくりというのはなかなか大変なものでした。広報というものは、情報提供するだけでなく読んだ人たちの心を明るく前向きにするものでなくてはならないと思っています。私が社会人になって三十年近くになりますが、長いデフレの中、停滞、沈む三十年でもありました。さらに追い打ちをかけるかのようになり、コロナに苦しみ、将来に不安を感じる経営環境は変わらなずです。

私は先代から「決して苦しい顔を見せずに笑って経営をしない」とよく言われました。私の尊敬する商工会の先輩は「いつも笑顔で」をモットーに毎日頑張っておりです。

今の世の中、スマホで調べれば経営のヒントやマニュアルは簡単に出来るかも知れません。それでも通じない社会環境の変化はこれからはくらくらして来るでしょう。そんな時、頼りになるのはお客様の困難を経験してきた先輩や周りで一緒に頑張っている人たちではないでしょうか？

吉川市商工会と関わって二十五年が経ちました。これまでのいろいろな経験をもって「あきんど」を作りました。商工会に関わる若者男女それぞれの立場の方たちに想いが伝われば幸いです。ありがとうございました。

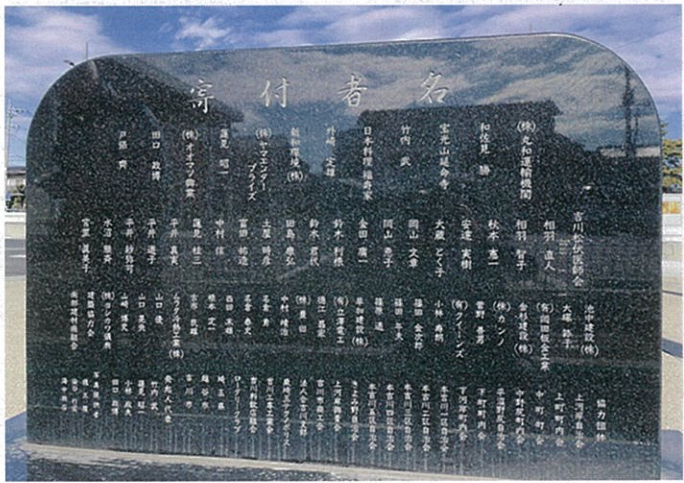
六千万円持ってきてくださいと言われたとき、一瞬ひるんだが、すぐにこう返事をしていた。「知事、いくら何でも六千万円はできません。しかし、三千万なら何とかします。それで勘弁してください」と。この時一緒にいた仲間に相談はしてないが、この金額なら何とかかなると変な自信があったのだ。前回百五十万円であんなに大変だったことも忘れていないくせに。



そして、寄付金の集め方についてもアドバイスをくれ、本気で我々のことを応援してくれた。帰ってから早速寄付金の集め方、記念碑を建立し、そこに寄付者名を書き込むこと。寄付金は一口十万円とすることなどを決めて走り出した。この時真っ先に声を上げてくれたのが美しい吉川橋を実現する会顧問でもある丸和運輸機関社長の和佐見勝氏と、会の副会長である吉川松伏医師会会長の平井真実氏であった。和佐見さんは最後に不足分が出たらいつでも言ってきなさいと言ってくれたし、平井先生は医師会の理事に顔を出して説明してくれれば私が何とかしますと言ってくれた。大変ありがたう、早速医師会の理事会に出席して、この吉川橋の現状と我々の会の取り組みを説明し、大勢の方からたくさんのご協力をいただいた。和佐見さんからも結局高額の寄付金をいただいたのだった。大変ではあったが半年で三千万円を超える寄付金が集まり、知事のもとへ届けた。知事は約束通り我々の意見を聞いてくれて、設計の段階から我々を参加させてくれた。設計担当者とは合計六回も話し合いがもたれ、何度も設計をやり直し、当初の予定とは全く違うデザインに変更されていた。当時の私の頭の中には「瀬田の唐橋や渡月橋」があった。もちろん、そんなデザインの橋ができるわけもないのだが、イメージを繰り返し何度も伝えていく中で四代目吉川橋にふさわしい伝統的な和のイメージの橋のデザインが出来上がっていった。そして我々が動き始めてから十三年が経過、素晴らしい橋が完成し、立派な記念碑もできた。記念碑には吉川橋の歴史



め神事、テープカットが行われ、渡り初め式が開催された。吉川越谷両市長、県議、市議をはじめご来賓の方々、各自治会長ほか約千五百人の市民が渡り初めに参加してくれた。渡り初めは吉川越谷両市の二組の三世代三夫婦が先頭を切り、そのあとにご来賓の方々、越谷市の阿波踊り連、吉川市の八坂祭り青年会と続き、一般の市民がそのあとに続いた。八月の猛暑のなかであったが、無事渡り初め式を終えた。前日の八月五日には吉川青年会議所、吉川市商工会青年部、八坂祭り青年会の三団体により開通記念花火大会が見事に挙行政され、突然の開催だったが驚きと大喝采であった。



長い長い時間の経過をこの紙面に書き記すことは不可能だが、大勢の市民の皆様、一緒に努力していただいた小林さん、蓮見さん、竹内さんをはじめ会の役員の皆様、最大限の感謝の言葉を送り、最後に記念碑の一文をここに記して三回にわたって書いてきた吉川橋今昔を終わります。 (理事 田口 政博)

会員紹介

「結婚と就職は同時です」

(有) 齋藤建設 齋藤規行社長

今回の会員紹介は建設業部会の(有)齋藤建設 齋藤規行社長に建設業部会長の田口がインタビューをさせて頂きました。年が明けたとある日の夕方、インタビュー開始です。

— 齋藤さんは(有)齋藤建設の何代目？
— 齋藤規行社長(以下、齋藤)：たしか4代目ですね。
— 現在は専務？それとも社長？
— 齋藤：もう社長になって8年ぐらいたちますよ。自分の知らないうちにいつの間にか社長になってました。
— 今はどんな仕事メイン？
— 齋藤：基礎工事が本来の仕事ですが、今は外構工事とかですかね。ところで齋藤さんは何歳にな



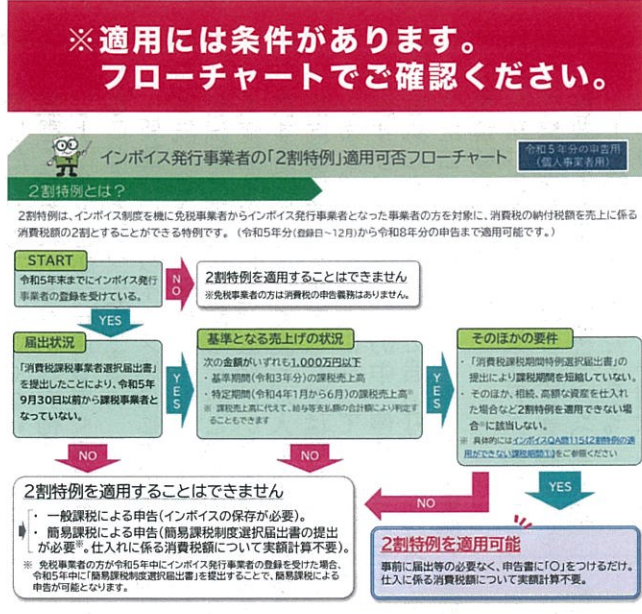
りましたか？
— 齋藤：45歳になります。
— 結婚と就職はどちらが先？
— 齋藤：結婚する条件が会社の跡取りになることって嫁から言われてましたから、まあ同時ということですね。
— 齋藤さんはいわゆるお婿さんです。齋藤幸男会長のお嬢さんと結婚する時の奥さんからの条件が婿に入り跡を継ぐことと言われていたようです。
— 建設業につくことが不安だと嫌だとか、そんな気持ちは？
— 齋藤：いや、嫌な仕事でもないし、何とかなるんじゃないかと思っていましたよ。
— 今、この仕事をしていて良かったって思ってますか？
— 齋藤：そうですね。物を作る仕事って嫌いじゃないし、面白いです。先代社長とは仕事の面や私生活でもずっとうまくやってきましたか？
— 齋藤：いや、それは色々ありますよ。喧嘩はしないけど、意見が合わないこともあるし、あんまり分からない事言うから現場から黙って帰ってきちゃったこともありますよ。でも、夜は同じテーブルで一緒に酒飲んでるんだから。
— 奥様と結婚してなければ今の仕事もしてないと思うけど、それなら今何をしてるでしょう？
— 齋藤：(笑)どうなんですか。そんなこと考えた事も無いですが

— 商工会青年部も今年卒業ですが、入部して何か変わった？
— 齋藤：自分の所は地域も狭いし、生まれた所でもないから友達もいないし、それは話ができる友達がたくさんできて良かったですよ。卒業したらどうなりますか。寂しくなるんじゃないか。わかってませんね。
— そういえば齋藤さんはすでに息子さんも一緒に仕事をしてるんですか。どうですか。楽しいですか？
— 齋藤：私が仕事に入った時もおやじさんは何も言わなかったです。今私も息子に対して仕事の事はほとんど何も言いません。自分も教えてますが、先輩からもいろいろと教えてもらってるみたいです。
— では、この辺で今後の抱負は？
— 齋藤：えーっ、随分まじな話ですが、きちんとこの仕事をつないでいけたらいいんじゃないですかね。
— と、いろいろなインタビューでした。実質1時間近く話していたのですが、ほんの一部をお伝えします。(理事 田口 政博)

(有) 齋藤建設
社長 齋藤 規行
吉川市八子新田 478-1
048-982-9364

商工会よりお知らせ

商工会からのお知らせ
■インボイス発行事業者の「2割特例」について
2割特例は、インボイス制度を機に免税事業者からインボイス発行事業者となった事業者を対象に、消費税の納付税額を売上げに係る消費税の2割とする特例です。(令和5年登録日分、令和8年申告分までが対象)



※適用には条件があります。フローチャートでご確認ください。
■青色申告のご相談
(期間) 令和6年2月16日～3月15日
(場所) 吉川市商工会館
★個人の青色申告のみ相談可
左記の相談については直接越谷税務署にお問合せください。
「株式、土地、建物、FX、仮想通貨などに関わる取引」
※税務署での事前相談は予約が必要です。
電話 048・965・8111